

## 2010 夏山 燕岳～上高地縦走登山合宿報告書

京都産業大学探検部 4回生 川原将司

【目的】燕岳～上高地間を縦走し、合宿ハイライトである槍ヶ岳登頂を果たす事

【日時】2010年8月25日～29日(4泊5日)

【場所】長野県松本市飛騨山脈系

【集合】2010年8月25日8時、JR草津駅

## 【メンバー】

CL：川原将司(法4回) SL：千葉弘貴(済4回) 記録：越後智貴(文1回)

## 【装備】

## ・団体装備

ステラ4テン(本体)4テンプル4テンフライグランドシート鍋セットバーナーヘッド×2  
ガス缶×4ペグ食糧調理セット(油等)救急セットサバイバルシートツェルト風防

## ・個人装備

メインザックサブザックザックカバーシュラフ断熱マットレインウェア着替え防寒着  
登山靴昼食行動食非常食水容器 30分飲み物容器コップタオル帽子ヘッドライト  
予備電池ライターナイフゴミ袋ロールペーパー折り畳み傘新聞紙計画書ラジオ箸等  
レトルト2食分米7合缶詰4個程(内一つツナ缶)保険証(コピー可)常備薬地図コンパス  
洗面具(歯ブラシ等)粉末状のスポーツドリンク軽アイゼン予備靴紐青春18きっぷ(2回分)

## ・あればいいもの

ボディペーパー等ハッピーセットカメラ日焼け止めサンダルSRB(入浴予定地はSRB常備)  
トランプ類

## 【食糧計画】

	朝	昼	夕
初日		(コンビニで済ます)	豚キムチ丼+ニラと青ネギとツナの和え物
2日目	味噌煮込みうどん	個装	焼きそば+缶詰+味噌汁
3日目	ご飯+レトルト+味噌汁	個装	野菜炒め+ハンバーグ+レトルト+ご飯
4日目	たらこパスタ	個装	小梨平の食堂で外食
5日目	ニンニク玉ねぎピーマンの炒め物+ご飯	(駅前を外食)	

- ・1日目：豚肉+キムチ +ツナ缶+青ネギ+ニラ+ごま油(適量)+米
- ・2日目：うどん3玉程+即席味噌汁、焼きそば麺+ニンジン+玉ねぎ+ピーマン+缶詰+味噌汁
- ・3日目：レトルト+米、玉ねぎ+ニンジン+ピーマン+キャベツ+魚肉ハンバーグ+レトルト+米
- ・4日目：乾麺4人分+たらこソース
- ・5日目：ニンニク+玉ねぎ+ピーマン

## ・使わなかった食材

ラーメン3袋、ブナシメジ・人参(傷んでいたため)、ちらし寿司、ホットケーキミックス(水のみ)

炊き込みご飯の素、水煮筍

※予備日が要らず予備食分が余った

## 【費用】

行き、電車2,300円+安曇観光タクシー約2,300円、計4,600円

帰り、上高地シャトルバス1,130円+濃飛バス1,530円+電車2,300円、計4,960円

食費、食糧1,100円程+上高地のお食事1,000円程+水代1000円程、計3,100円

宿泊、テント代2,200円程+入浴代400円、計2,600円

合計15,260円程

## **【登山行程】**

### **・1日目：京都駅～穂高駅～中房温泉登山口**

8:00 草津駅集合

草津 8:40 発米原行き,米原 9:15 発大垣行き,大垣 9:56 発名古屋行き,名古屋 10:32 発中津川 11:45 着,昼飯  
中津川 12:03 発松本行き,松本 15:08 発穂高 15:39 着、穂高駅から安曇観光タクシー乗車約 50 分

16:50 中房温泉着、幕営開始

17:20 夕食準備、激しい夕立でテントが床下浸水

18:20 夕食終了

19:00 就寝

### **・2日目：中房温泉登山口～燕山荘～大天荘**

3:00 起床、朝食準備、快晴

4:30 出発、登山開始

4:55 第一ベンチ着

5:28 第二ベンチ着

6:00 第三ベンチ着、小休止→6:07 出発

6:46 富士見のベンチ着

7:19 合戦小屋着、休憩→7:35 出発

8:33 下山する中学生の集団に道を譲る

8:51 燕山荘着[サブ行動開始]→9:16 燕岳山頂(2762.9m)着、休憩→10:00 燕山荘出発[サブ行動終了]

10:47 大下りの頭着、小休止

12:30 大天井岳前分岐着、小休止→12:35 出発

13:13 大天荘着(約 2900m)、水 2ℓ購入、千葉倒れる→13:30 幕営→17:20 夕食→19:00 就寝

**【歩行距離：約 12km、行動時間：約 7 時間】**

### **・3日目：大天荘～西岳～槍ヶ岳**

2:30 起床→3:00 朝食→4:05 出発、晴れ、強風

4:44 大天井ヒュッテ着

6:00 小休止→6:05 出発、西岳までの稜線は景色も良く歩きやすかった

6:55 西岳ヒュッテ着、小休止→7:00 出発

8:25 ヒュッテ大槍前小ピーク、小休止、連続するはしごで体力ではなく筋力を使う→8:30 出発

9:40 ヒュッテ大槍前、小休止→10:10 頃ヒュッテ大槍着、水購入

10:45 殺生ヒュッテ着、幕営開始→11:05 出発[サブ行動開始]

12:05 槍ヶ岳山頂(3180m)着、休憩→13 時頃出発→14 時頃幕営地着[サブ行動終了]

16 時頃 夕食→18:00 就寝

**【歩行距離：約 11km、行動時間：約 7 時間半】**

### **・4日目：槍ヶ岳～天狗原分岐～大曲～槍沢ロッヂ～横尾山荘～上高地**

3:00 起床→3:21 朝食→4:40 ヒュッテ大槍に飲み水を買に行き、怒られる

5:15 出発

5:47 坊主の岩屋着

5:56 縦走開始から初めて無料の水場にありつき、北アの天然水を堪能する

6:27 水俣乗越分岐

7:19 大曲り

7:40 槍沢キャンプ場

8:00 槍沢ロッヂ着、小休止→8:10 出発  
8:42 二ノ俣  
8:50 一ノ俣  
9:00 槍見河原  
9:46 横尾山荘  
10:33 新村橋  
10:42 徳沢ロッヂ  
11:15 分岐  
12:00 小梨平キャンプ場着、登山終了、OB:藤田さんとエンカウト→13 時頃幕営→14 時頃入浴  
17:00 小梨平キャンプ場の食堂で外食、上での食事とは一味違った→18 時頃プチ打ち上げ→22 時頃就寝  
【歩行距離：約 17km、行動時間：約 6 時間】

#### ・ 5 日目：上高地バスターミナル～高山駅～京都駅

6:00 起床→7:40 朝食→9:00 出発  
上高地 10:30 発平湯温泉行きシャトルバス 11 時着、平湯温泉 11:30 発高山駅前行き濃飛バス 12:27 着  
JR 高山 14:48 発美濃太田,美濃太田 17:29 発岐阜,岐阜 18:19 発米原,米原 19:19 発京都 20:12 着

登山開始から終了までの総歩行距離：約 30km 以上、総行動時間：約 20 時間(休憩等含まず)

#### [感想・所見等]

##### ・ 越後智貴

好天に恵まれ、非常に登山を満喫することが出来て良かったです。ただ、地図の不具合などにより水場が非常に少なく、全日程を通して水に困らされるのが大変でした。日程的にもそれほどの遅れが出ることもなく順調でした。ただ、行きと帰りの移動は流石につかれました。

水場の不足などは事前に調査しておく必要があった。体力にバラつきがあったため、ある程度のトレーニングはしておく必要あり。日程はキツかったが、適切だったと感じる。装備面に関しても十分だった。

##### ・ 川原将司

夏山合宿の計画は今年で 2 回目となる。去年は立山入りし、立山三山を縦走しつつ剣を目指していたのだが、初日に雨が降り、剣岳登山が困難になったため、代わりに大日方面へ縦走した。合宿としては、失敗である。今年、幕営地でテント設営を終えた後に雨が降る事はあったものの、行動中は快晴だったため、槍を臨む表銀座ルートの綺麗な縦走路を気持ちよく歩く事ができた。一昨年から構想していた計画だけに、合宿の成功を喜ぶばかりだった。もちろん、道中は色々あったが、全員無事登山を終えられ満足であるし、夏山縦走が初となった二人の仲間にも、良い経験になったのではと思う。

合宿前の計画段階では、北穂高を通過して涸沢に抜けるルートを考えていたが、大キレット縦走経験者がいないため、無難に槍沢から下山する事にした。実際、登山開始日と次の日には疲れがとれず、翌日に持ち越していた感があったので、この判断で良かったと思う。

合宿を一日毎に見ると、初日：移動日、2 日目：登山開始、3 日目：槍ヶ岳登頂、4 日目：上高地、5 日目：帰宅解散と言った形になる。これらを個別に見ていくと、初日についてはもっと違う形で入山できるようにしたかったのは、本心だ。ただ、参加者の日程が合わず、京都から穂高へ向かう高速バスの運行日に合わせる事ができないため、予備日をとった時に帰りやすいよう用意していた 18 切符を併用し、電車での移動で落ち着いた。昨年、一昨年も鈍行電車にはお世話になったが、乗っているだけで、疲れた。

2 日目は登山開始日である。自然と気持ちが高ぶるが登山開始初日から予定の時間より 30 分程遅れたので、

不安も多分にあった。前日夜には降っていた雨が止んでおり、天気も晴れていたので自分達のペースを保ちつつ燕岳を目指した。途中、中学生の団体に道を譲った事で、また 30 分程遅れが出た。しかし燕山荘に着くと槍ヶ岳を南手に、ずらっと北アの山々が広がり、雄大な景色に感動した。ここより、山荘にメインザックをデポして燕岳登頂後ピストンし、荷物回収の後大天井岳を目指す。大天井の道中は雷鳥がいたが、またお前かと思うと同時に、特に珍しい物でもないのかもしれないと思いながら縦走路を進んだ。大天井岳へはゆったりとした登りだったが、北アの三大上り坂もあってか、かなりゆっくりと隊が進んでいた。大天荘からは 10 分程で山頂へ行けるが、ほとんど見えているようなものだし、風が強いこともあって幕営完了後はテント内で静かにしていた。幕営地は 2900m 程で、そこから東側にはさえぎる物がなく、安曇野市の町並みがぼんやりと見えていた。高所から町並みを見るのは、あまりない事だった。

3 日目はいよいよ槍ヶ岳アタックである。槍ヶ岳手前までは険しい道が続く事は、予め地図で確認できていた。むしろ途中が危ないだろうと。夜明け前に出発し、ご来光が槍ヶ岳を赤く照らした頃になると、綺麗な縦走路に出ていたが、その後の西岳前後やヒュッテ大槍前の登りは、体力面で疲れたと言うより筋肉痛になるような疲れ方をした。はしごの連続である。特に西岳から少し下った所にある、槍沢へ合流するルートが伸びるコルの中心部手前のはしごは、危なかった。後ろ向きになってはしごを降りるのだが、降り切った場所が狭いため、大きなザックが邪魔になり、振り向いたときに体勢を崩すと滑落し危険である。今後表銀座コースを通して槍ヶ岳を目指す人がいれば、注意した方がいいだろう。さて、殺生ヒュッテで幕営準備を終えて槍ヶ岳を登ったし下山しようかとなると、もう 14 時近くになった。霧が濃くなってきたので穂先から下山し、肩の小屋で登頂祝いに乾杯し、テントに籠った。ここで問題が。水がないので買ってこなくてはならない。殺生ヒュッテで水を分けて貰おうとすると、生水だからそのまま飲むには差し支えると言われていたのだった。そのまま飲料水として使える水を手に入れるには、ヒュッテ大槍まで 15 分程歩いて買いに行かなければならない。元々、旺文社の地図に記載されているヒュッテ大槍の水場で、西岳から来た時に水を補充しようという予定だったが、地図のミスのおかげで実際にはそんな物等ない事が確定的に明らかになり、どうせすぐ殺生ヒュッテに着くのだからと、ここではケチって槍ヶ岳登頂に必要な飲料水 10 を買う事にして、幕営地横の殺生ヒュッテで調理用や翌日以降に飲む水を買おうとし、こうなった。結局、その時必要だったのは調理用の水だったので、殺生ヒュッテでその分を買い、翌日ヒュッテ大槍まで飲料水を買に行こうと言う事になった。

4 日目、朝から怒られた。夜明け頃ヒュッテ大槍に水を買に行くと、小屋の人が、何故殺生ヒュッテで水を買わないのかと不機嫌そうに聞いてきた。前述の理由があるのだが、それよりも、朝っぱらから水だけを買いに来た人が、100 円の物に 1 万札を出したのが悪かったのだろう。下界の店とは違うと言う事を再認識する。準備を終えて槍ヶ岳を背に下山を始めると、30 分程行った所がかつての行者が修行していた岩穴があった。よくもまあこんな所でニートしていたなと感心する。昔の人も、こんな辺鄙な所に来てまで働きたくなかったのだろうかと、遠い昔のニートに思いを馳せる。もう少し進んだ先では、北ア登山開始から初となる水場にありつけた。中房温泉にもあったような気がするが、まあいい。ここでは今まで後生大事に抱えていたカルピスを皆に奮発した。新鮮な雪解け水のため、美味さも一味違う。水のありがたさを改めて思い知った。下山ルートは、横尾山荘を経て梓川に沿って上高地に向かうのだが、この道が長く、上高地に着いた頃になると皆疲れ果てていた。幕営地の小梨平でテント設営の受け付けを済ませていると、OB の人と偶然遭遇した。合宿が無事終わった時に報告しようと思っていたのだが、手間が省けた。OB も交えて皆で登山の無事終了を祝って酒盛りをし、ぐっすりと床に就いた。

5 日目は電車で帰宅し、解散した。予備日を使う事になれば、高速バス等は乗れないため電車になるのだが、帰り位は一本で帰って、車中などでゆっくり寝たいと思った。この点はまだまだ模索すべきである。

以上振り返ってみるに、初めての夏山縦走計画にしては良い出来だったと思う。それはもちろん、自分一人では成す事ができなかった。二人には感謝である。合宿中は、疲れた疲れたと言っていたが、これからも、こういった機会があれば是非参加してほしいと思う。皆さん、お疲れ様でした。